

内容をから生活上の規律や道徳を教わる。昔話のみならず、戦時中を熱意をもって伝えてくれる語り部は少なくなつたが、まだまだ必要な存在である▼自分のやるべきことに責任をもつて頑張る。みんなのために身を粉にして伝える。イエスから遣わされていることに誇りを持ち、その姿と言葉で「御父のみ顔」であるイエスを証しできたらと思う。

(S)

2016年福岡キリスト教一致祈禱会 主の力あるわざを告げ知らせる

2016年キリスト教一致祈禱週間が、1月18日～25日、全世界で行われた。

今年のテーマは「主の力あるわざを、広く伝えるために招かれて」(ペトロの手紙一2章9節参照)。今回はラトビアの諸教派の代表が準備。

これに合わせ、福岡市内ではキリスト教一致祈禱会が1月24日18時より、大名町カトリック教会で行われた。大寒波の到来で開催が心配されたが、諸教派の信徒約70人が集い、共に祈りを捧げた。実行委員のG・ミシェル神父(箱

崎教会主任)は「中止するとは考えず、数人でも集まった人で祈ればよいと思った。すべては神さまが守ってくださっています」と語った。その言葉通り、聖霊によって導かれ、穏やかな交わりの時となった。

平田敬神父(光丘教会主任)が主司式、中村正司祭(日本聖公会)、三田照雄牧師(日本バプテスト連盟)が共同司式者、駒木亮牧師(日本基督教団)が説教者を務めた。

開会の挨拶に続き、「聖霊への祈り・和解の祈り」「みことばの宣言(聖書朗読と説教)」「希望の祈り」と進んだ。

火が灯されようそくと塩、各派の代表が会衆を祈りに招く



礼拝では、火が灯されようそくと塩という聖書的な象徴が用いられた。「塩と光は、キリスト者が現代人に差し出すべきものの象徴です。わたしたちは、神のことばによって、味気なく空虚になりがちな生活に風味を付けます。そして、自分自身と周囲の世界を見て理解できるよう、人々

を導き、助ける、いつくしみ深いことばを届けるのです」と、キリスト教一致祈禱週間小冊子に説明されている。

駒木牧師は説教の中で、「ラトビアは東(ロシア)と西(ドイツ)の争いに翻弄されてきた国、偏狭地であり、衝突の最前線である」と説明。「しかし、『偏狭』という概念は人間が作り出したものです。神はどこにでもおられ、神の前には地理的、時間的制約はありません。私たちの中心は神のみです。神の愛に偏狭がないように」とすべてを超え

る神に目を向けるように招いた。また、ラトビアの歴史を振り返り、「ラトビアのように今も弱くされている人、地域のために祈りましょう。神の無条件のめぐみによって選ばれた私たちが、他者に命と光を運び、味付けする塩として、最前線に派遣されていくように祈りましょう」と述べた。

「主の力あるわざを告げ知らせるという一つの使命を共に有している」ことを確認し、希望の祈りが各派の代表信徒によって捧げられた。共に主の祈りを歌い、握手をもって平和の挨拶を交わした。

雪に包まれた街の一角で、キリストの火が静かに灯された夕べだった。

新成人のお祝い イエスに出会う体験は人生の糧



笹丘教会のホープ！新成人

青年たちが教会に足を運ぶことが難しくなっている社会事情の中、今年も教区内各地の小教区で成人式が祝われた。新成人がキリストに結ばれつつ、置かれた場所で花咲くよう共同体の祈りが捧げられた。

笹丘教会では

1月10日「主の洗礼」の10時のミサの中で新成人の祝福式が行われた。新成人を迎え

に「私たちは仲良くしています」が記されています。「仲良くする。信頼を得協力者を得る。地域の要請に応える」は本会の奉獻生活の源泉であり、様式とも言えるでしょう。

現在、4つの信愛女学院、6つの福祉施設を主として活動の場としておりますが、時代の要請に応えることは容易ではありません。

「仲良くしないさい」は、共に働く人々と、また、私たち

に「私たちは仲良くしています」が記されています。

奉獻生活の年

「私たちは仲良くしています」

私たちの修道会は1859年9月14日、フランスの田舎町シヨファイユで創立され、18年後の1877年(明治10年)5月20日にマルセイユを出発、54日間の旅の後の7月9日、神戸上陸から日本の生活が始まっています。それはプチジャン司教様の要請によるものでした。

創立以来、一貫して見える動きは、呼んでくださる方があり、その指導の下で地域の要請に応え、協力者を得て

た14人の信徒のうち、この日は足立稜磨さん、小浜晶子さん、小浜万理子さん、高平友美さんの4人が参加した。

ミサの中で遠山満神父は、「主の洗礼はイエス様の公生活、宣教の始まりの日です。そして、成人式は青年の方が大人として社会に派遣される日です。今日この日に成人を迎える皆さんが、イエス様と共に人生を歩んでいくことができるよう共に祈りを捧げましょう」と述べた。

ミサ後、青年会によるヒーローの時間を利用して、お祝いの席が設けられた。新成人からは「何年も教会から離れているのに、このような場を設けてもらい申し訳ない気持ちもありますが、感謝です」「この教会に誇ってもらえるような人になるように、頑張ります」「教会はたまにしか来れないけど、来ると和む場だし、様々な人との出会いがあり、色々なことを考えさせてもらう場です」などの思いが語られた。

乾杯に続き、遠山神父、今田神父から挨拶があった。信徒会長の川原義広氏は「青年の時期にイエスに出会う体験は人生の糧になります。ぜひ、そのような時間を大切にしてください」と述べた。

が接する学生、園児、施設入居者、病人さんにつながります。特に、人生の終末期を過ごすホスピスでの関わりを通して、「仲良くしないさい」のことは今も新鮮さを増して響いてくるのを感じます。

このことばに勇気づけられ、これこそ私たちの奉獻生活の基本であることを実感し、喜び、学びつつ、つないでいきたい。創立者の派遣のことばは今の私たちにも響く福音です。

シヨファイユの幼きイエス修道会
Sr.泉 キリ江

2014年11月30日から続いてきた「奉獻生活の年」が、2月2日(主の奉獻の祝日)で終わります。これに合わせて、今月号をもちまして「奉獻生活の年」のコラムを終了します。紹介できなかった修道会もありましたが、「奉獻生活の年」の目的「①感謝の念をもって、過去(起源)を振り返る②情熱をもって、今を生きる③希望のうちに、未来を受け入れる」に照らされて、これからそれぞれの会が歩まれるように、共に祈り、協力してまいりましょう。(編集部)

その後、「君たちがこの地球に生をうけた年は」と題したスライドショーがあり、1995年～96年の主な出来事(阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、野茂英雄選手の活躍等)が紹介された。また、第2バチカン公会議閉幕から50周年、いつくしみの特別聖年であることも説明され、ちよとした「大人の教会学校」の時間でもあった。

直方教会では

1月3日(日)直方教会では、主の公現のミサの中で新成人の祝福式が行われた。新成人を迎えたのは田中充(みつる)さん、高野唯さん、矢野希(のぞみ)さんの3人。これまで家族や教会の人達そして神様からいただいた恵



直方教会のミサで祝福を受ける新成人

みを思い起こし、共に感謝を捧げた。ミサの最後に、新成人から「成人といっても3人はまだ学生で、各々夢に向けて頑張っている途中ということ、これからも皆様よろしくお願いします」との言葉があった。高野さん、矢野さんは看護師を目指して勉強中。高野さんからは、「いつも温かく迎えてくださる直方教会の皆様を、本当の家族のように思っています」との感謝の言葉があった。信徒会長の竹内智則さんからは、「今まで育ててくれた両親や周りの方々に感謝を忘れずに、これからの歩みの中で辛いことがある時にも、しっかりと前を向いて歩んでください」と励ましの言葉が述べられた。最後にサプライズで、新成人から家族への手紙の朗読があり、「両親と家族に感謝すると同時に、立派な大人になつて恩返ししたい」との決意が読み上げられ、新成人も家族も涙を流しながらの感動的な祝福式となった。

計報

種本シカ修道女

(聖母訪問会)



長崎県平戸の宝亀出身、1948年3月19日に入会。2016年1月5日に肝内胆管癌のため帰天。享年86歳。52年の奉獻生活を全うした。昨年10月始めに急に具合を悪くし、癌と診断され余命3ヶ月と宣告された。その際、驚く様子もなく、そのまま受け

止め、神さまの元へ帰ることですねと笑みを浮かべて応えられ、では、点滴も薬もいりませんと断り、神様にお任せして自然にいきますと、最後まで苦痛を笑顔でしので奉獻を終わられた。

ペトロ黒丸恭介

(福岡コレジオ神学生)

大学2年生

武蔵ヶ丘教会出身。2014年4月に福岡コレジオに入会。2016年1月4日に事故で帰天。享年19歳。お二人とご遺族のためにお祈りください。

【月例黙想会】

期 日：2月20日(土)17時～21日(日)15時
指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)
費用：8,700円(税込・指導料含む)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)

Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

インターネットで検索

【聖週間の黙想会】(部分参加可)

期 日：3月24日(木)～27日(日)
指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)
費用：25,000円(税込・指導料含む)

◆詳細はお問合せください

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

第24回 世界病者の日 教皇メッセージ(要約)

マリアのように、いつくしみ深いイエスに自らをゆだねる
「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」
(ヨハネ2:5)

カナの婚礼(ヨハネ2・1-11)に関する福音を用い、病者や苦しむ人に寄り添い、仕える姿を説く。マリアは「問題に気づき、自らの問題としてとらえ、控えめに、すばやく行動する」とし、マリアの心遣いに映し出される神の優しさは、「病者に寄り添い、病者のほんのささやかな要求も把握している多くの人々の生き方に表れています」と語る。また、カナの場面での「召使い」の働きについて「イエスはその奇跡を行うにあたり人間の助けを借りることを望みます」「彼らは不平を言ったり躊躇したりせずに、マリアを信頼し、頼まれたことをすぐにしっかりと果たします」と説明。「わたしたちも、しばしば隠れたところで行われる神の奇跡を助ける手、腕、心になることができます」と述べ、「喜んで仕えられる者」になるよう説く。

「あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださる」神を中心に、「キリストの恵みといつくしみに」信頼して歩むよう招く。「苦しみの体験は、つねに神秘に包まれています、イエスはその意味を明らかにするのを助けてくださいます」

(メッセージの全文はカトリック中央協議会のホームページに掲載)

1月17日(日)、大名町教会において伊藤幸史神父(東京教区司祭)の講演会が行われた。福岡地区カトリック女性の会主催(日本カトリック女性団体連盟共催)。

伊藤神父は現在長野県のプロテスタント系のNPO法人「共働学舎」において、現代社会から弾かれてしまった人々や障害を持つ人々と共に農業共同体での研修を行っている。

この日、約130人の参加者がDVDやスライドを使っての軽妙な話に聞き入った。伊藤神父は、現代の困難の多い問題、特に子ども達の問

要とされている「自己否定に苦しんでいる。どうしたら「生への肯定感」が伝わり、育てることができるか。それは幼子が家庭で無条件に世話をしてもらえるというような「存在の世話」にあり、その最たるものが「日々の食」である。人は食べ物で育ち、食べ物なしには生きていけないからである。

毎日の食卓、弁当に心を込めよう。子ども達は栄養のバランスだけでなく「あなたは大切」というメッセージを受け取る。

現代の食の価値観の変化、経済優先の価値観の流れの中



「日々の食卓」の大切さを語る伊藤神父

「食の力」新たな家庭の霊性を求めて

福岡地区女性の会

題に光をあてる道筋は「私達の足もとにある」と強調される。

心の闇に悩む子ども達は「自分はダメなんだ。自分なんか大嫌いだ。自分は必

でそれに抵抗することは大変な事。しかし今のままで良いとは思えない。

カトリックは食の宗教である。イエスは「日々の食卓」の中で神の愛といつくしみを伝えた。私達はミサの中でそれを体験している。「日々の食卓」は神の愛といつくしみを

のまなざしを理解し、信仰の土台を築く場である。

現代の心の闇(孤独、孤立を生む社会問題)の中で、食は人と人、人と自然、人と社会の関係(つながり)を生み出す窓口であり、食には人生を変える力、希望の光がある、と論じた。

中高生・青年スポーツ大会
スポーツで寒さを吹き飛ばせ!



シュートが決まるか!?

流を深めた。

直方教会の浜部悠斗君(中2)が感想を寄せてくれた。「最初は緊張していたが、だんだん緊張がなくなってきた。ドッチビーでは、当てられないかドキドキして逃げ回り、スリルがあつておもしろかった。他には、バスケもして、シュートも上手くなかったけど楽しかった。思いつきりスポーツをして汗を流し、とても楽しい一日だった。」

企画してくれた青年会の方々と神父様、本当にありがとうございました。今度、また中高生が集まることになれば、積極的に参加したい。そして、たくさんの人と友達になりたいと思う」



いつくしみ深く
御父のように

「あつちに餡子餅もあるぞ」、遅れて到着した仲間を声をかける。ヒートテックの下着等が当たる抽選会で、自分は早々に当たったが、隣の人がまだ当たらず、最後まであきらめたらダメや」と励ます。冬空のもと集った路上生活者や生活困窮者の方々の間に、やさしい空気が流れる。

1月10日(日)の午後、須崎公園(福岡市中央区)にて「おにぎりの会」主催の新春お雑煮大会が開催され

NPO ホームレス支援・福岡おにぎりの会
やさしさに包まれて

今年、通常の炊



た。宗派、教派を越えた信徒、一般の方、歯科医師、若い医学生、司法書士ら、約40人のボランティアが参加。法律相談や健康相談も行われた。

約100食のお雑煮、おにぎり、つきたての餅が振舞われた。ボランティアの中には以前路上生活をしていたという人もいた。

聖マリア病院で
感動の合同クリスマス会



新生児にプレゼントをわたす井手公平神父

12月25日の午後4時半から聖マリア病院にある雪の聖母聖堂にてクリスマスミサが行なわれた。おそらく、福岡教区で一番遅い時間に捧げられるクリスマスミサは、今回で63回を数える。

宮原良治司教をはじめ、筑後地区を中心とした神父9人が聖マリア病院付聖母聖堂に集まり、病院関係者や患者達とミサを捧げた。

司教は説教で、「いつくしみ深い御父は、神でありながら生身の人間となつてこの世に來られた幼子を示され、救いをお与えになった。愛と平和は神から来るもの。幼子はその真理を示すために來られたのである」と語った。

患者達のベットサイドに行き、時には膝を屈めケーキを渡す司教・神父と、一本のロウソクの灯火の中で受け取る患者達の表情には、本当のクリスマスの意味が写し出されたように感じられた。尚、ミサ前には、ロビーで大牟田明光学園の生徒による「クワイヤーチャイムの演奏」のプレゼントがあった。

また、聖マリアグループ社会福祉法人福成会の軽費老人ホームメゾンマリアでは、近隣に住む高齢者の方々と幼稚園児たちにもケーキが配られ、祝福が与えられた。

ミサ終了後は恒例のキャンドルサービスがあった。職員、聖マリア学院大学の学生、久留米信愛女学院の生徒、筑後地区の女性の会も含めた聖歌隊の歌声が響く中、1000人を超える入院患者・入所者のすべての方々に司教・神父達によってクリスマス・ケーキが配られた。

「来てみなさい、手が動きます」
by 福者マザー・テレサ

2月～3月の毎週金曜日、大名町教会を拠点に「スーパの会」と協働で越冬活動を行う。調理と配布のボランティアがある。一回のみの参加も歓迎。献品・献金も受け付けている。詳細は4面のお知らせをご覧ください。

のやさしさの中にキリストがおられたのかもしれない。「はつきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイ25・40)



☆教皇ヨハネ・パウロ2世
回勅 いつくしみ深い神



神のいつくしみを求める叫びは、現代の教会の特徴でなくてはなりません。聖書に表現された「いつくしみ」の概念を考察し、キリストの復活の秘儀にこそ、その完全な啓示があることを再確認する回勅。正義の理念がゆがめられた現代社会への、愛といつくしみの実践の訴え。

教皇フランシスコの大勅書『イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔』でも参照されている、いつくしみの特別聖年にあたって必読の書。

ペトロ文庫発行
価格625円＋税

☆理想的指導者像を求めて
山内清海 著



真の指導者の不在が嘆かれ、その出現が叫ばれるようになって久しい。本書は、本当の「指導者」を待望している現代に、旧約から新約に至る歴史に登場する指導者像を追いつつ具体的な解説をしています。

サンパウロ発行
税込価格864円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみ深く
御父のように2月10日 灰の水曜日(大斎・小斎)
2月10日～3月24日 四旬節(四旬節愛の献金)

世界病者の日 2月11日

聖ヨハネ・パウロ二世教皇によって1993年から始まった「世界病者の日」。この日は「ルルドの聖母の記念日」でもあり、毎年教皇メッセージが発表されます。今年のテーマは「マリアのように、いつくしみ深いイエスに自らをゆだねる。『この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください』(ヨハネ2・1～11)」。

本紙三面に教皇メッセージの要約を紹介。

2016 スープの会
ホームレス支援 越冬炊き出し

みなさん、ご参加ください。献品・献金をお願いします。
2月から3月の2週目まで毎金曜日



【調理ボランティア】
14時～大名町教会
1階厨房

【配布ボランティア】
20時集合 大名町教会
1階講堂

※3月4日のみ配布ボランティア 20時集合 美野島司牧センター

【献品】
防寒着・毛布・靴下・カイロ・ラップ・アルミホイル

【問合せ】
深堀伸一 080-1793-0481
飛永薫 080-4317-4152

福岡ホスピスの会 公開講座

日時：2月13日(土) 14時～16時
場所：カトリック大名町教会 1階講堂
入場料：1,500円(200席限定・チケット制)
講師：樋野興夫先生
(順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授)
演題：言葉の処方箋・がん哲学外来
～明日この世を去るとしても、
今日の花に水をあげなさい～

主催：福岡ホスピスの会
問合せ：柴田 ☎090・1162・6395

2016年度 北九州地区 聖書講座

<年間テーマ>いつくしみの聖年
～聖書が語る神のいつくしみ～

日時：2月21日(日) 14時～16時30分
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
講師：森山信三神父(久留米教会主任)
テーマ：イスラエルの民に語られる、神のいつくしみ(1)
主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会
問合せ：徳永哲 ☎& FAX 093・592・0316
今後の予定

第2回	4月3日	イスラエルの民に語られる、神のいつくしみ(2)
第3回	6月26日	マタイに語られる、神のいつくしみ
第4回	9月11日	ルカに語られる、神のいつくしみ
最終回	11月20日	いつくしみの聖年の閉幕にあたって

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com



梅の花の季節が白銀の世界に。今回の寒波は予測を超えたものだった。積もった雪で道を行く人はまばら、車の通りも少なかった。主日のミサに來た人も多くはなかった。予定していた行事も中止か延期に。翌日も凍りつく気温が続く。身動きが出来ない程だった。学校も休校が相次ぎ、皆家の中に閉じ込められてしまった。自由登園を試みた幼稚園もあったが、子どもの姿はやはり少なかった。その翌日も地域によつては氷雪が残ったり、道路凍結や水道管凍結で生活を乱された。けれど、また暖かい春がやって来るのだ。神は希望や喜びも準備してくださっている。

編集後記

梅の花の季節が白銀の世界に。今回の寒波は予測を超えたものだった。積もった雪で道を行く人はまばら、車の通りも少なかった。主日のミサに來た人も多くはなかった。予定していた行事も中止か延期に。翌日も凍りつく気温が続く。身動きが出来ない程だった。学校も休校が相次ぎ、皆家の中に閉じ込められてしまった。自由登園を試みた幼稚園もあったが、子どもの姿はやはり少なかった。その翌日も地域によつては氷雪が残ったり、道路凍結や水道管凍結で生活を乱された。けれど、また暖かい春がやって来るのだ。神は希望や喜びも準備してくださっている。

お知らせ

十時伸治神父が米国での研修を終え、昨年12月末に帰国しました。当面、司祭の家に居住。

熊本地区召命を共に祈る会
【日時】2月18日(木) 10時半から(場所)健康教会(問合せ先)健康教会 ☎096・368・2825 浦川務神父

熊本
【聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先) ☎096・384・1693 中川

佐賀
【佐賀祈りの集い(日時)2月10日(水) 10時～12時(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

池
【祈りの集い・勉強会(日時)2月13日(土) 14時から(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(問合せ先) ☎092・541・3730 松山

【聖書に集う会 第1回(日時)2月17日(水) 14時～15時半(毎月開催)(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階集会室(講師)鈴木信一神父(パウロ会)(内容)マルコ福音書とルカ福音書を読み比べながら学びます(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

【ラスキン黙想と祈りの集い(日時)2月26日(金) 19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

【美野島司牧センター あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日 10時30分 ◆越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時大名町教会(スープの会と協働) ◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M.コース神父

北九州
【北九州召命を共に祈る会(日時)2月18日(木) 14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先) ☎094・9・24・9905 藤井

佐賀
【佐賀テゼの祈り(日時)2月13日(土) 20時～21時(場所)佐賀教会聖堂(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田

【熊本地区召命を共に祈る会(日時)2月18日(木) 10時半から(場所)健康教会(問合せ先)健康教会 ☎096・368・2825 浦川務神父

【熊本地区召命を共に祈る会(日時)2月18日(木) 10時半から(場所)健康教会(問合せ先)健康教会 ☎096・368・2825 浦川務神父

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

【カテドラルでのゆるしの秘跡(日時)2月6日、20日、3月12日、19日 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリアル
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリアル(検索)
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間 平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930